

すみれ保育園における自己点検及び自己評価

実施期間 今年5年3月1日～3月31日

評価基準 A:かなりできているB:ほぼできているC:あまりできていないD:ほとんどできていない

※保育を総合的に評価し次の保育計画に生かせる方向で記入してください。評価のところに上記の該当するアルファベットを記入し、また項目ごとに意見・改善策を記述してください

評価方法 A:4 B:3 C:2 D:1と換算し平均をだした。

全職員に自己評価について趣旨を説明し全職員から提出された自己評価票を園長がまとめたもの。

| | 自己評価の観点 | 評価 |
|---|---|-----|
| 保育の 計画性 | 1、園の保育理念・保育方針の理解 | |
| | ○園の保育理念や保育方針を理解している | 3.6 |
| | 2、保育所保育指針の理解 | |
| | ○保育所保育指針を理解していると思う | 3.6 |
| | 3、保育課程の理解 | |
| | ○園の保育課程を理解していると思う | 3.6 |
| | 4、指導計画の作成 | |
| | ○指導計画は、保育指針・保育課程・幼児の実態等をもとに考え作成している | 3.8 |
| | 5、環境の構成 | |
| | ○安全で清涼感のある環境構成をしている | 3.8 |
| | ○幼児が自ら活動を展開していけるような場や空間の構成をしている | 3.4 |
| | ○幼児の動線や目線に配慮した環境構成をしている | 3.7 |
| | ○季節の変化に応じた環境構成をしている | 3.6 |
| 6、保育と計画の評価・反省 | | |
| ○実際の子どもの姿・興味・関心に合っていたかどうかという点から自分の保育と計画の評価・反省は行うようにしている | 3.6 | |
| ○評価反省を次の保育と計画に活かせるように行っている | 3.7 | |
| ○自分の保育を他の職員たちにも見てもらい、それをもとに検討している | 3.4 | |
| 保育の 在り方・ 幼児への 対応 | 1、健康と安全 | |
| | ○登園時は視診や検温により幼児の体調が悪くないか確かめている | 3.9 |
| | ○体調が悪そうときは静かに寝かせたり検温をするなど適切な処置を行いすぐに家庭へ連絡している | 3.9 |
| | ○園内に危険な個所や物がないか、危険な遊び方はないか観察している | 3.8 |
| | ○万一事故や怪我が発生した場合は、園長に報告したり保護者に連絡をとったり医者には診てもらおうなど適切な処置を行っている | 3.9 |
| | 2、幼児の理解 | |
| | ○発達過程・発達課題をふまえた保育・発達の連続性への配慮等を行っている | 3.7 |
| | ○一人ひとりの幼児をよく観察するように心がけている | 3.8 |
| | ○幼児同士のかかわりの中で、その姿の内にある心の動きについても推察するようにしている。 | 3.7 |
| ○幼児の理解のために保護者と話し合うなどしている | 3.7 | |

| | | |
|---|---|-----|
| 保育の在り方・幼児への対応 | 3、指導とかかわり | |
| | ○幼児の心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、かかわり方をしないようにしている。 | 3.8 |
| | ○園児の気持ちに共感しながら一緒によく遊んでいる | 3.8 |
| | ○幼児の話をよく聞くようにしている | 3.8 |
| | ○幼児をほめたり、励ましたり、めあてを待たせるような言葉かけをしている。 | 3.8 |
| | ○幼児の個性や性格、特徴に応じたかかわり方をしている。 | 3.8 |
| | ○「先生のようにやってみたい」と幼児が思うようなたち振る舞いを心がけている。 | 3.4 |
| | 4、保育者同士の協力と連携 | |
| ○幼児のことについて常に保育者同士で話し合い、クラスを超えて情報を共有している。 | 3.7 | |
| ○指導上必要な園児については、職員全体でよく話し合い、共通理解をもって対応するようにしている。 | 3.7 | |
| 専門家としての資質 能力・良識・適正等 | 1、専門家としての能力・良識・義務 | |
| | ○幼児の性格や個性を把握するように努めている。 | 3.7 |
| | ○朝と帰りの挨拶は、明るく元気に親しみをこめてしている。 | 3.7 |
| | ○何かをしてもらったら感謝の気持ちを言葉に表している。 | 3.8 |
| | ○職務上知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守っている | 4 |
| | 2、組織の一員としての在り方 | |
| | ○子どもの事やクラスの出来事等で必要な事は、園長や主任に報告・連絡・相談をしている | 3.9 |
| | ○職員や園の批判を軽はずみにしていない。 | 3.9 |
| | 3、保育の楽しみ・喜び | |
| | ○幼児のささやかな成長が理解でき、それを喜ぶことができる。 | 3.9 |
| | 4、周りを感じ取れる感性 | |
| | ○保育や子育てに関する情報をたえずとらえようとしている | 3.7 |
| | 5、研修と研究 | |
| ○研修会等には課題を持って進んで参加している。 | 3.4 | |
| ○園の遊具や教材、機材について基本的な使い方を知っている。 | 3.4 | |
| ○障がいのある幼児に対応する保育のあり方を学習している。 | 3.1 | |

| | | |
|---|---|-----|
| 保護者への対応 | 1、情報の発信と受信 | |
| | ○クラスや子どもの様子、保育のポイント等をクラスだより等で知らせている。 | 3.8 |
| | ○個々の子どもの様子は、直接話したり連絡帳等を使って伝えられている。 | 3.8 |
| | 2、協力と支援 | |
| | ○保護者からのさまざまな訴えや意見要望については安易に受けたり、断ったり、無視したりしないで園長や主任等に報告や相談をしている | 3.9 |
| | 3、守秘義務の遵守 | |
| ○保護者の住所・電話番号など個人情報の管理については園の方針に従っている | 3.9 | |
| 4、対応 | | |
| | ○電話は相手が見えないために誤解が生じやすいので、手短かに簡潔に要領よく対話することを心がけている。 | 3.8 |
| 5、クレームへの対応の仕方 | | |
| | ○保護者からクレームがあった場合は、謙虚に話を聞き、園長に連絡・報告・相談している。 | 4 |
| 地域との関わり | 1、地域との関わり | |
| | ○小学校と連携し、交流する機会をもっている。 | 3.7 |
| | ○地域の人々と親しくあいさつや会話を交わしている。 | 3.7 |
| | ○卒園した子どもの情報を得るように努めている。 | 3.6 |
| | ○子育て支援のあり方について職員全体で話し合っている | 3.7 |
| | ○地域での行事や祭りなどに積極的に参加したり、協力したりしている。 | 3.7 |
| | ○老人ホーム等を訪問しお年寄りや園児のふれあいの場を大切にしている | 3.7 |
| ○子どもの心身の発達や育児不安等について気軽に相談できるように育児相談事業を行っている | 3.7 | |
| 事務管理・運用 | 1、事務管理・運用 | |
| | ○子どもの個人記録は、個人情報保護法に基づいて管理している | 4 |
| | ○職員に園内で知りえた事柄に対しての守秘義務を周知徹底している | 4 |
| | ○帳簿類は、適切に記載し、整理保管している | 4 |
| | ○定期的に施設設備・遊具の安全点検をしている | 4 |
| | ○園運営が円滑に行われるように適切に予算を執行している | 4 |